

ダイナマーサ

拠点間ネットワークに、
専用線品質と完全帯域保証を。

サービス資料

拠点間ネットワーク、こんな課題はありませんか？

ビジネスのデジタル化に伴い、従来の回線では対応しきれない問題が発生することがあるのではないのでしょうか。



品質のばらつきと 帯域不足

拠点ごとに通信品質が異なり、Web会議の切断や大容量データの送受信遅延が頻発。業務効率を著しく低下させている。



セキュリティ 不安の増大

インターネット経由では外部攻撃や漏洩のリスクを拭いきれず、拠点間接続における高度な管理負担が情シス部門に集中。



クラウドシフトへの 拡張限界

クラウド利用増でトラフィックが急増。既存回線のキャパシティを超え、将来的なビジネスの拡張性に限界が見え始めている。

✓ 安定運用と将来拡張を両立できる拠点間ネットワークが必要です。

01

サービスのご紹介

イーサーネット専用線 ダイナイーサをご紹介します。

ダイナイーサとは

2拠点間を結ぶ、完全帯域保証型専用線サービス

完全帯域保証

契約した帯域を他利用者の影響なく常時確保。トラフィックの増大時も安定した通信環境を提供します。

イーサネットインタフェース

一般的なLAN（L2）と同じ接続形式。自社機器のLANポートに直接接続するような感覚で利用可能です。

幅広い対応範囲

1Gbps ~ 400Gbps

全国エリアの自社バックボーン

【図：2拠点接続イメージ】



POINT

輻輳による通信遅延の不安をゼロにし、基幹システムの安定稼働とDX推進に不可欠な大容量通信のインフラをセキュアに構築できます。

ダイナイーサの4つの強み

① 高品質・完全帯域保証



回線ごとに固定帯域を割り当てているため、他者の通信影響を一切受けません。物理的に分離された経路で、最高レベルの安定性とセキュリティの確保に貢献します。

メリット

基幹通信の遅延リスクを排除し、業務の安定稼働を強力に支援します。

② マルチプロトコル対応



L2イーサネット提供のため、プロトコルの制限がありません。多様な独自システムや、複雑なVLAN構成、特殊な通信プロトコルもそのまま利用可能です。

メリット

既存環境を改修せずスムーズに移行でき、将来の構成変更にも柔軟です。

③ 迅速な障害検知（LPT）



障害発生時、ポートを遮断するLPT機能を搭載。対向装置へ即座に異常を伝え、自動で冗長への切替を促します。

メリット

障害検知の自動化により、夜間・休日でもダウンタイムを最小限に抑えます。

④ 選べる3つのクラス



「シングル」「デュアル」「プレミアム」から選択可能。拠点の重要度や予算に合わせ、最適な信頼性レベルを構成できます。

メリット

過剰投資を防ぎつつ、ミッションクリティカルな拠点には最高級の保護を提供します。

要件に応じて選べる3つのサービスクラス

	シングルクラス	デュアルクラス	プレミアムクラス
構成	標準構成 単一回線・単一装置によるシンプルな構成です。	回線冗長 予備回線を備え、障害時には経路を切り替えます。	回線・機器冗長 予備回線に加え、トランスポンダも冗長化します。
対象帯域	1Gbps ~ 400Gbps	1Gbps ~ 400Gbps	10Gbps / 100Gbps
向いている用途	- 一般拠点間接続 - バックアップ通信 - コスト重視の環境	- 基幹系システム - 本番拠点・DR対策 - 止まらない通信が必要	- ミッションクリティカル - DC間接続の最重要拠点 - 高可用性が必須な環境
推奨シーン	コストと品質のバランスを重視	ビジネス継続性を最優先する企業	極めて高い可用性が求められる金融・インフラ

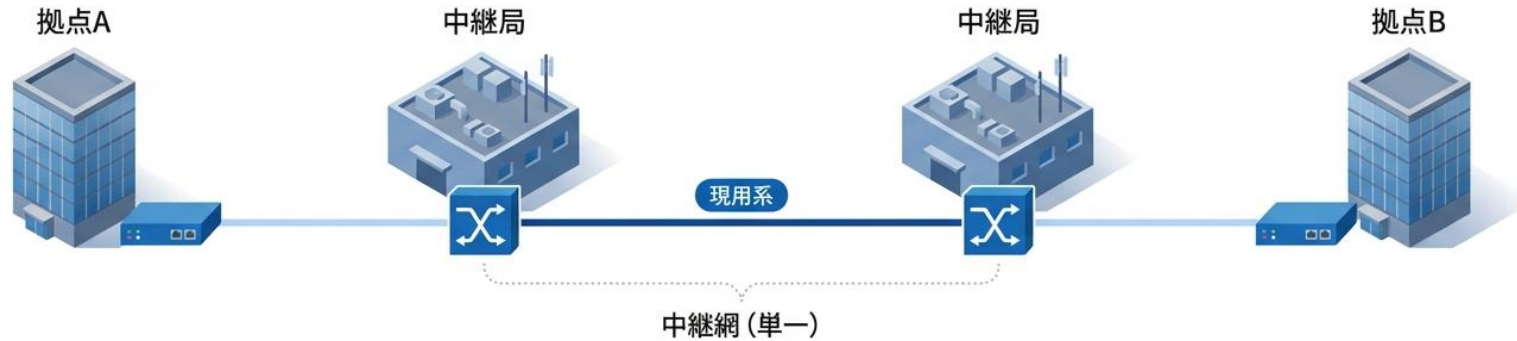
※400Gbpsはシングルクラス、デュアルクラスのご提供となります。また、プレミアムクラスは10Gbps/100Gbpsのみの提供となります。

POINT

拠点の重要度に応じたクラス選択により、可用性とコストのバランスを最適化できます。

サービスクラス構成イメージ

シングル構成



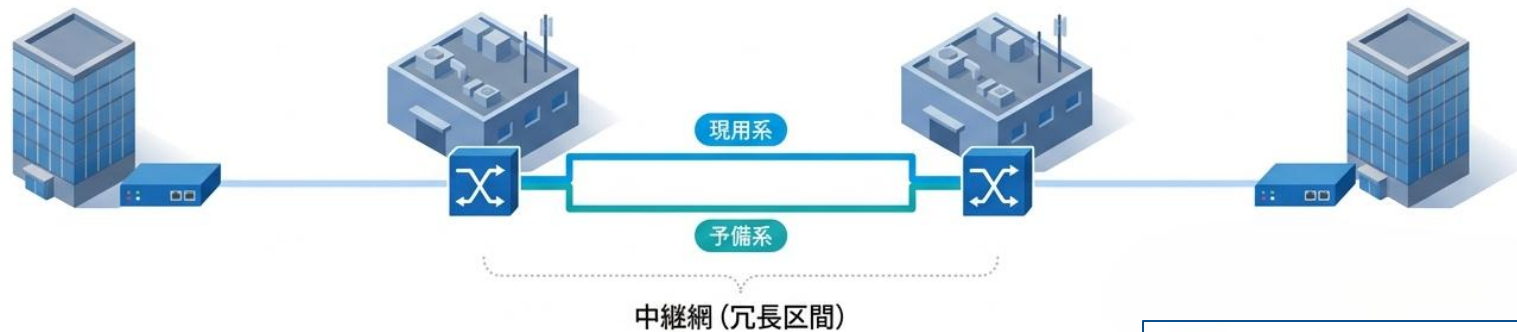
冗長性

なし

障害時

通信断が発生

デュアル構成



冗長性

あり

障害時

切り替え

※切り替わり時間は、帯域やお客様装置の仕様により異なります。

※トランスポンダ冗長も可能です。

スペック・提供条件

提供品目	1Gbps、10Gbps、100Gbps、400Gbps
提供クラス	シングル、デュアル、プレミアム ※1
提供区間	別途お問い合わせ
提供料金	利用区間・帯域・形態に応じて個別算定（要問い合わせ） ※2

※1 プレミアムクラスは、10/100Gbpsのみ提供可能です。

※2 提供可否については、利用区間により個別確認が必要となります。

POINT

現状の帯域不足解消だけでなく、中長期の増速計画も見据えた柔軟なネットワーク設計が可能です。

ユースケースのご紹介

こんな企業・シーンにおすすめ

01 大容量通信

課題 CAD・AI等の巨大データが他業務の通信を圧迫。

ダイナイザーが合う理由

完全帯域保証により、大容量データの同期も安定。1Gbps～400Gbpsの広帯域でバックアップ／データ同期時間の短縮を実現します。

03 大容量バックアップ

課題 バックアップが時間内に終わらず、翌朝の業務通信を圧迫してしまう。

ダイナイザーが合う理由

帯域占有により転送時間を正確に予測可能。業務通信とは別系統で構築し、干渉を防げます。

02 データセンター間接続

課題 DC間トラフィックが増えつつあるため、共有型回線のセキュリティ面や安定性を改めて確認したい。

ダイナイザーが合う理由

物理レイヤの専用線のため、最高レベルの秘匿性と、他社の影響を受けない固定帯域を確保可能です。

04 クラウド・拠点間接続

課題 基幹系のクラウド化が進み、従来のVPNやベストエフォート回線だけでは対応が困難な場面が想定される。

ダイナイザーが合う理由

AWS等への閉域接続に最適。リンク断転送機能により、障害時の冗長切り替えも迅速です。

✓ 止めたくない通信ほど、専用線品質の価値は大きくなります。

ベストエフォート型やVPNと何が違うのか

専用線品質のダイナイサーは、帯域の確約と高いセキュリティレベルにより、基幹通信に最適な環境を提供します。

🔗 【比較1】 帯域品質の差

比較項目	完全帯域保証型 (ダイナイサー)	ベストエフォート
帯域	◎ 固定割り当て	△ ユーザー間で共有
安定性	◎ 常に一定速度	△ 混雑時に低下
遅延・揺らぎ	◎ 最小・一定	△ 負荷に依存
適性	◎ 基幹システム リアルタイム業務	○ Web閲覧 一般事務

🛡️ 【比較2】 信頼性・セキュリティ

比較項目	専用線 (ダイナイサー)	インターネット VPN
閉域性	◎ 完全閉域	△ 公衆網を経由
セキュリティ	◎ 物理・論理分離	○ 暗号化で保護
品質管理	◎ キャリアが管理	△ 制御不能 (ネット全体)
コスト	○ 品質重視	◎ 低コスト・手軽

※インターネットVPNは低コストで手軽に導入できる一方、通信品質が外部環境に左右される可能性があります。

POINT

基幹通信を安心して預けられる、信頼のネットワーク基盤です。

多様な専用線のサービスラインナップ

拠点構成や接続方式への柔軟な対応

アルテリア・ネットワークスでは、2拠点間接続の課題解決から 将来を見据えた豊富なラインナップを取り揃えています。



マルチポイントアクセス

1対多の接続に最適、ハブ＆スポーク型の構成を効率的に実現



マルチストリームアクセス

1拠点に複数回線を論理的に収容、バックアップや多対多接続に



専用線アクセス

最高水準の品質とセキュリティを求める重要拠点間の1対1接続に



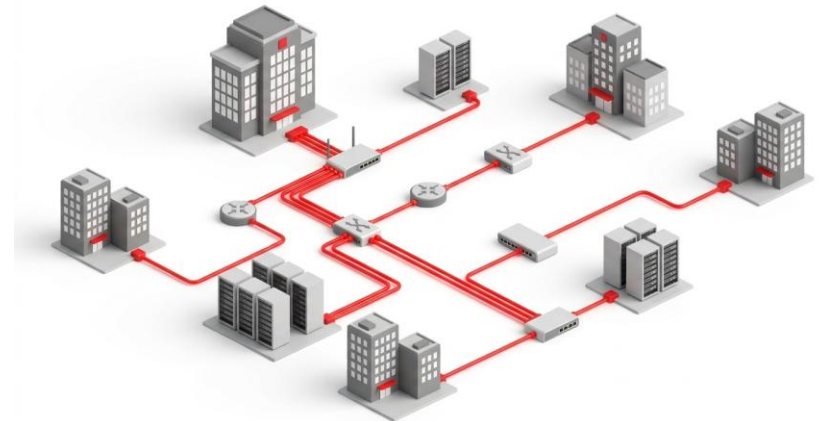
ダイナマー・ワイド

広域エリアにまたがる多拠点網をフラットなレイヤ2で構築したい場合に



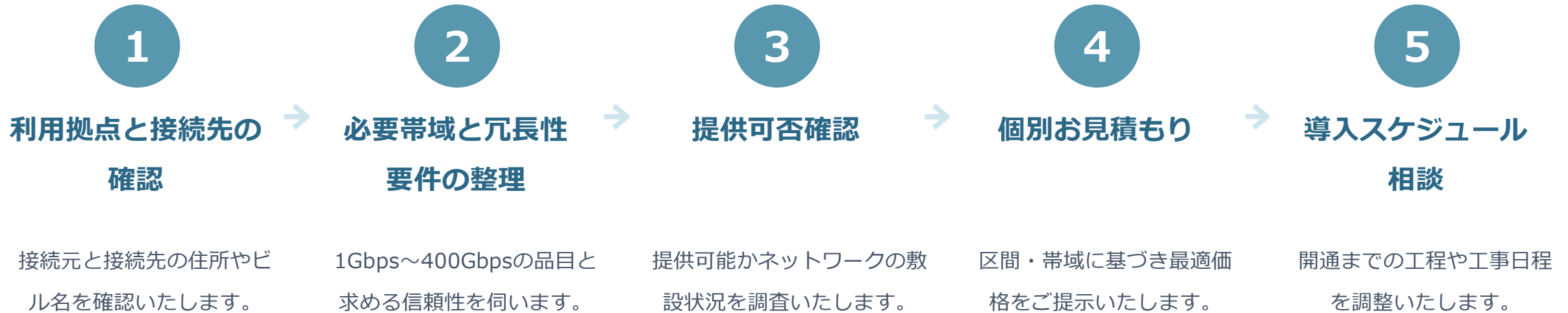
国際専用線

グローバル展開を見据えた、海外拠点との安定した高品質通信に



単体利用から、多拠点・グローバル展開も見据え、
ビジネスの成長に合わせた最適な接続方式を
選択いただけます。

お問合せ後の流れ



※提供区間・料金は個別算定となります。詳細な要件をもとにお問い合わせください。

現行回線の課題整理段階でもお気軽にご相談ください。

ネットワークのプロフェッショナルが、貴社のDX・拠点間通信の最適化をサポートします。

02

会社紹介

アルテリア・ネットワークス株式会社についてご紹介いたします。

会社概要



アルテリア・ネットワークス株式会社

「ARTERIA」はラテン語で「動脈」を意味する言葉です。動脈が、血液を巡らせて生命に活力を与え、動かし、成長させていくように、私たちは情報を速く・確実に・隅々まできめ細やかに巡らせることで、人々の生活や企業のビジネスが生き活きと躍動し、進化していくことをサポートしたいという決意を込めています。

会社名	アルテリア・ネットワークス株式会社
創業年月日	1997年11月4日
代表取締役社長執行役員	阿部 達也
資本金	51.5億円
売上高	連結：681億円、単体：553億円（2026年3月期）
決算期	3月末日
従業員数	連結：1,161名、単体：923名（2026年3月末時点）
事業目的	電気通信事業法に基づく電気通信事業 データ通信サービス事業 データセンター事業 電気通信工事業 前各号に附帯し、又は関連する一切の事業
株主	丸紅株式会社 セコム株式会社



つなぐ"ネットコミュニケーションズ"



<https://www.tsunagunet.com/>



<https://www.arteria-net.com/eng/>

GameWithARTERIA

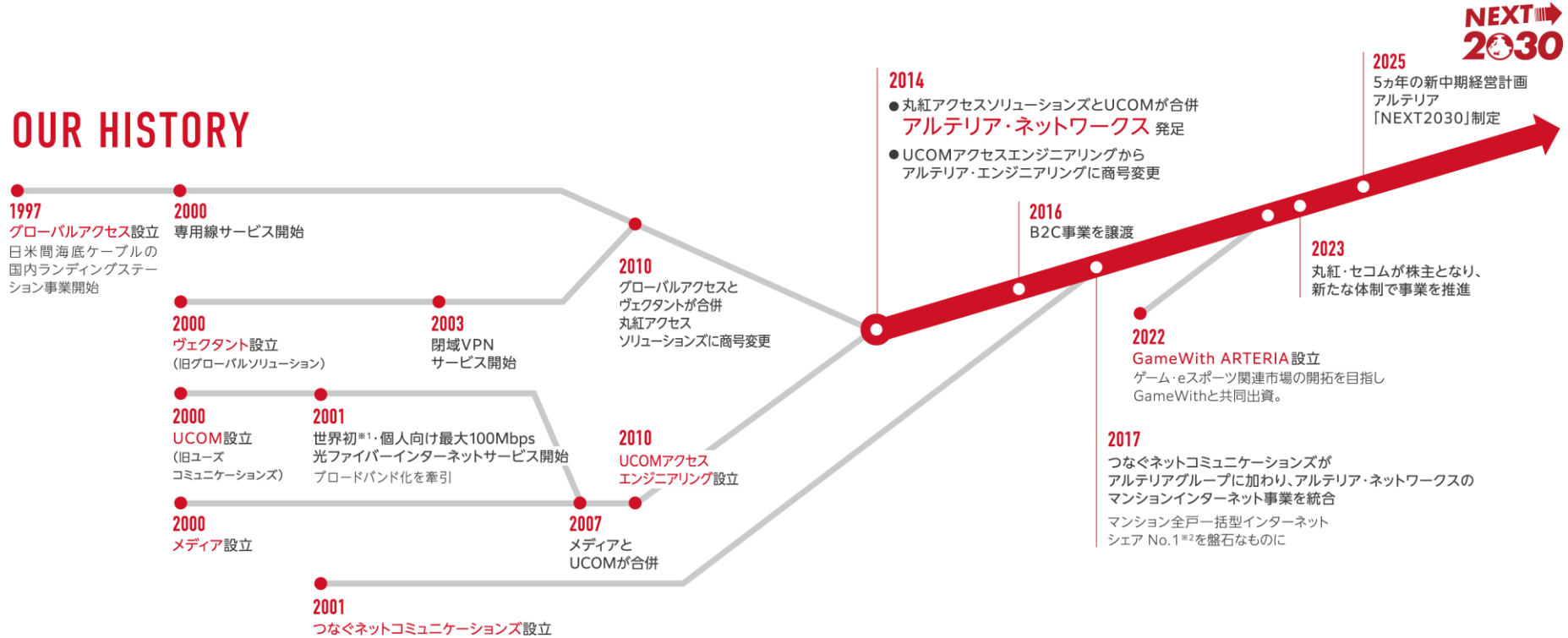


<https://www.gamewith-arteria.com/>

アルテリアグループの歩み

通信ネットワーク系の複数の会社を起源とし、ブロードバンド黎明期に
業界のパイオニアとして、それぞれユニークな役割を果たしてきました。

OUR HISTORY

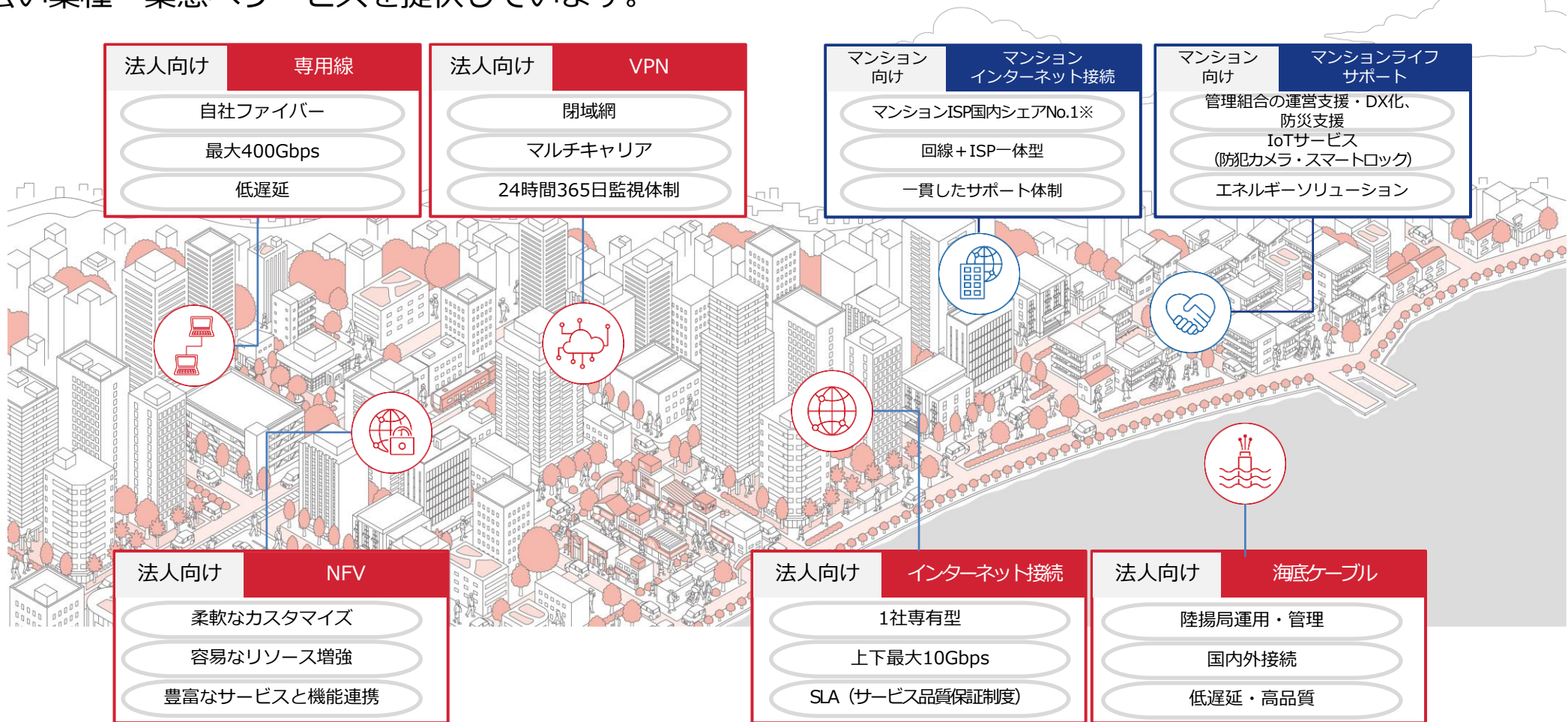


※1 MM総研調べ

※2 MM総研「全戸一括型マンションISPシェア調査」（2025年3月末）に基づくもの

アルテリアグループの事業

長年ネットワーク事業を支えてきた高い設計力と運用力を活かし、柔軟性と機動力を強みに、幅広い業種・業態へサービスを提供しています。



※ MM総研「全戸一括型マンションISPシェア調査」
(2025年3月末) に基づくもの

その他サービス

クラウド接続／監視ソリューション／IP電話／セキュリティ／eスポーツスタジオ運営

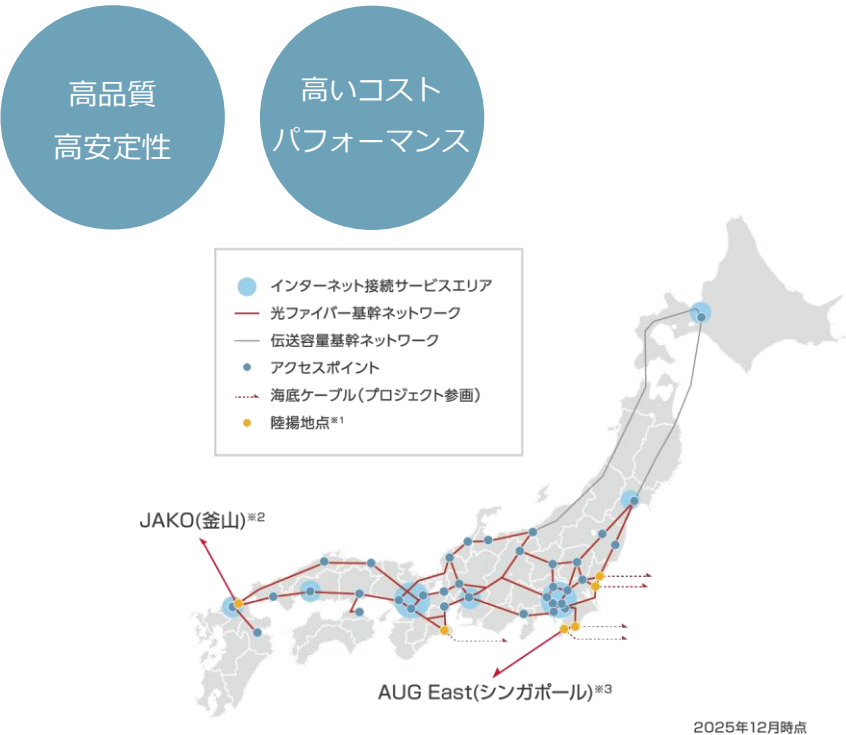
アルテリアグループの事業

アルテリアグループの事業は、創業以来培ってきた強固なインフラと経験豊富な運用技術によって支えられています。

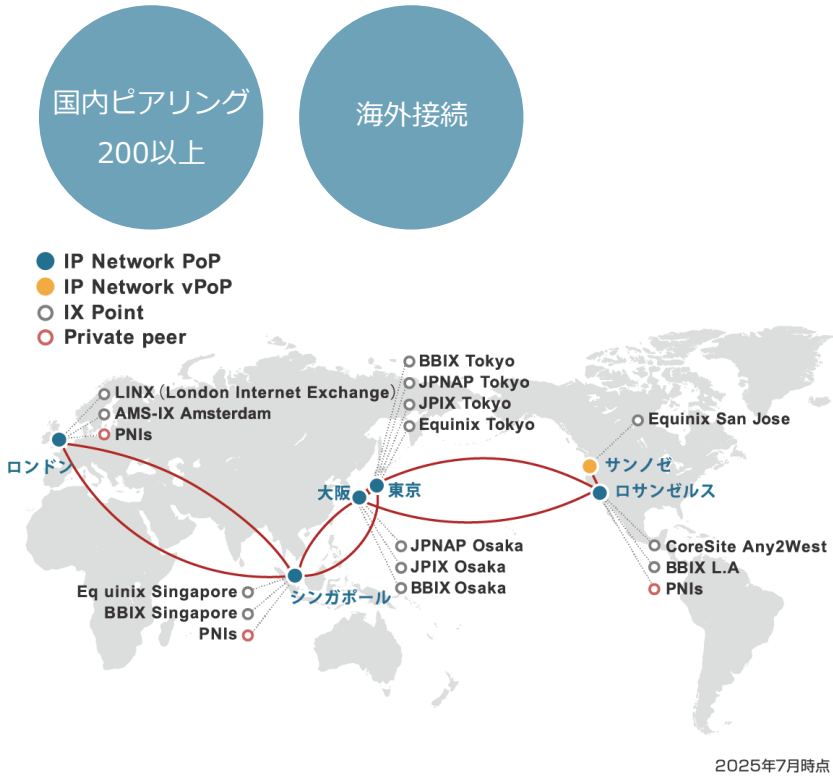
アルテリアグループの強み

■ 全国規模の光ファイバーネットワークを保有

■ 大容量のIPバックボーン



※1 陸揚地点は、海底ケーブルを海から陸上の通信網につなぐ拠点を指す
※2 JAKO：2027年第3四半期 提供開始予定
※3 AUG East：2029年第3四半期 提供開始予定



ARTERIA

アルテリア・ネットワークス株式会社

お問い合わせ・ご相談

サービスの詳細や不明点など、下記よりお気軽にお問い合わせください。

お問合せフォームはこちら

本 社	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番8号 住友不動産新橋ビル
名古屋事業所	〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町35番16号 第一富士ビル5階
大阪事業所	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町二丁目1番6号 堺筋本町センタービル9階
福岡事業所	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南一丁目3番6号 第三博多偕成ビル5階

- ・ 本資料に含まれる全てのコンテンツの著作権およびその他の権利は当社または当社に権利を許諾した権利者に帰属します。当社または権利者の許諾を得ず、本資料を複製・転用・目的外利用することは固く禁じます。
- ・ 本資料には、AIサービスを活用して生成したデータが含まれています。
- ・ 当社は本資料に記載した情報の正確性、完全性、有用性、実現性、不変性を保証せず、本資料の使用に起因して発生した損害について一切責任を負いません。
- ・ 「AWS」は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。